

参考資料 令和3年度地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画進行管理表（抜粋）

基本目標	4 福祉のまちづくりの推進				取組の方針	(1) 物理的なバリアフリーの推進		全体 評価	○	
施策	①ユニバーサルデザイン及びバリアフリーの推進									
事業番号	34	ページ	117	担当部署	道路課、まちづくり拠点整備推進本部、計画課、地域福祉推進課、地域安全対策課					
事業名	移動のバリアフリー化の推進									
事業内容	高齢者、障害のある人、子ども連れの方など移動の困難な方も含め、移動の安全性及び利便性が向上するための取組を推進します。									
取組名	道路のバリアフリー化の推進			交通事業者との連携強化① 【まちづくり拠点整備推進分野】			交通事業者との連携強化② 【計画分野】			
令和8年度 までの取組目標 (参考目標数値)	交通バリアフリー基本構想に基づき、段差の解消、視覚障害者誘導用ブロックの改修、街路樹の管理、電柱の占用箇所の見直し、無電柱化事業の実施など、市道のバリアフリー化を推進する。			分倍河原駅周辺のまちづくりにおいては、継続的に鉄道事業者と協議を行い、令和4年度中に事業の合意となる基本協定を締結し、工事に向けて設計・調整を進めていく。			鉄道事業者への助成を実施し、高齢者、障害者等の移動の安全性及び利便性の向上のための施設整備の促進を図る。			
令和3年度 取組計画 (PLAN)	・ けやき並木通りの横断歩道位置変更に伴う視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・ 平和通り外1路線の視覚障害者誘導用ブロック改修工事（10月下旬 起工、11月 入札、12月上旬から3月下旬 工事開始）			・ 駅改良及び自由通路整備に係る調査設計 ・ 駅前広場に係る調査設計 ・ 駅前広場整備に係る用地取得			鉄道事業者各社に対して引き続きホームドア整備を要請するとともに、西武多摩川線競艇場前駅における内方線付き点状ブロック整備事業に対して助成を行う。また、JR南武線府中本町駅及び西府駅におけるホームドア整備事業に対して助成を行うに当たり、補助金の交付決定を行う。			
令和3年度 取組成果 (DO)	けやき並木通りの横断歩道位置変更に伴う視覚障害者誘導用ブロックの設置を実施。 また、府中スカイナードへ昇降機を設置したほか、継続中の事業として、都市計画道路3・4・11号及び3・4・16号各路線の整備事業、新宿仲通りの無電柱化事業を進めた。			・ 駅改良及び自由通路整備に向けた鉄道事業者との協議及び調査設計の深度化 ・ 駅前広場整備に向けた調査設計の深度化 ・ 駅前広場整備に向けた用地測量や協議の実施			鉄道事業者各社に対してホームドア整備を要請したほか、西武多摩川線競艇場前駅における内方線付き点状ブロック整備事業及びJR南武線府中本町駅及び西府駅におけるホームドア整備事業に係る補助金の交付決定を行った。			
取組評価 (CHECK)	△			○			○			
次年度への 課題・改善 (ACT)	市民や関係課（施設管理者）から誘導ブロック設置に係る問い合わせや要望が多く、歩道整備と合わせた事業の検討や予算措置が課題となる。			・ 鉄道事業者との事業の合意に向けた協議 ・ 用地取得に向けた権利者協議			・ 内方線付点状ブロックは市内全駅で整備が完了した。 ・ ホームドア整備については、社会的な半導体不足の影響により、鉄道事業者の整備計画に変更が生じているが、府中本町駅は令和4年度に、西府駅は令和5年度に竣工予定である。 ・ 鉄道駅ホームの更なる安全性の向上を図るため、市内各駅への早期整備が課題となっている。			
備考	平和通り外1路線視覚障害者誘導用ブロック設置工事については、4度にわたる入札不調により実施を見送ることとなったため、評価を△（取組計画の一部を達成）とした。						西武多摩川線競艇場前駅ホーム内方線付点状ブロック整備事業費 令和3年度予算額：鉄道駅整備事業補助金 1,233千円 令和3年度決算額：鉄道駅整備事業補助金 1,193千円 ※ホームドア整備事業は債務負担行為のため令和3年度予算計上なし			

評価基準・・・◎（取組計画達成し、取組目標も達成）、○（取組計画のとおり達成）、△（取組計画の一部を達成）、×（取組計画が未達成）